

令和 7 年度

学校生活をより良くするために
～学校生活のルールやマナー～

三原市立第二中学校

年 組 番 氏名

三原市立第二中学校生徒指導規程

第一章 総則

第1条 (目的)

この規程は、本校の校訓「響き合う二中っ子」を実現するために、生徒が共感的な人間関係を築き、自主的・自律的に充実した学校生活を送り、社会で通用する生き方を身に付ける（進路実現）という観点から生徒指導上必要な事項を定めたものである。

第二章 学校生活に関すること

第2条 (通学)

自宅を出て帰るまでが学校の教育活動であるため、交通ルールや通学マナーを守って安全に登下校する。

(1) 徒歩通学

- ・道いっぱいには広がらない等、歩道のマナーや交通ルールを守り登下校する。

(2) 自転車通学

- ・自転車通学は、自宅から本校までの距離が2キロ以上あり、自転車通学を希望し、許可を得た生徒とする。
- ・自転車通学の鑑札シールをもらうときには、実費200円を支払う。
- ・必ずあごひもをとめてヘルメットを着用する。
- ・通学自転車は条件を満たすものとする。（詳細については、「自転車通学について」【P11】を確認する）

※ヘルメットの未着用や自転車の改造等、違反等が繰り返される場合は、自転車通学を取り消す。

(3) バス・船通学

- ・バス停は中学校前のバス停を利用する。
- ・通行中は座席の移動をしない。
- ・窓から手や足を出さない。
- ・大きな声を出して乗客の迷惑にならない。
- ・その他バスや船のマナーを守る。

(4) 服装

- ・制服又は体操服で通学する。（冬季は防寒着で通学も可）

(5) その他

- ・場の状況に応じて、地域の方に気持ちの良い挨拶をする。
- ・下校途中に寄り道や買い食いをせず、まっすぐ家に帰る。（休日の部活動も同様）

第3条 (始業下校時刻・遅刻・欠席・早退・外出)

始業下校時刻・遅刻・欠席・早退・外出について次のことを守ることが一人一人の安全確保となる。登下校中にケガや事故があった場合は、すぐに学校に連絡する。

(1) 始業時刻

- ・8:15までに自分の教室に入り、提出物等を出し、8:20には着席しドリル学習を開始する。
- ※8:20に着席していない場合は遅刻とする。

(2) 下校時刻

- ・生徒の完全下校の時刻は次の通りとする。ただし、バスや船の時間により変更する場合がある。

4月 ～ 文化祭まで ⇒17:00

※部活動によっては延長あり

文化祭 ～ 3月末まで ⇒17:00

(3) 欠席・遅刻

- ・欠席・遅刻の連絡は、8:00までに保護者が「すぐーる」で学校に連絡をする。
- ・遅刻して登校した場合は、職員室へ登校したことを報告する。

(4) 早退

- ・早退が事前に分かっている場合は、保護者がその理由、時間、下校方法を学校に連絡する。
- ・早退をする場合は、職員室へこれから早退することを伝え下校する。

(5) 外出

- ・登校したら校外に出ない。特別な理由がある場合は職員室に連絡して許可を得る。
- ※許可なく校外に出た場合は家庭連絡をする。状況により警察に保護願いを出す。また、無断で校外に出ることが3回以上あった場合は、保護者に来校していただき指導する。

第4条 (頭髪・服装・身だしなみ)

頭髪や服装、身だしなみを整えることは相手に与え

る第一印象として大切なことである。また、精神的にも落ち着いて学校生活を送ることができ、自分の進路を切り拓くことにつながる。

(1) 頭髪

- ・学習の妨げにならないよう前髪は目にかからないようにする。
- ・前髪を斜めにカットすることは不可
- ・髪飾りなどの装飾品は着用しない。
- ・ヘアピンの色は黒、紺とする。ただし、頭頂部や前髪・クロスにする等しない。髪をとめる必要以上の本数を使わない等、学習の妨げにならないように使用する。また、体育の授業では外す。
- ・長く伸ばし肩にかかる場合は、ゴム（黒・紺・茶色）で1、2か所束ねる。
- ・染色、脱色、パーマ（ストレートも含む）、アイロンなどは禁止
- ・眉毛をそらない。細くしない。
- ・整髪料、化粧、マニキュア、ピアス、アイプチ、エクステ、まつ毛パーマ、カラーコンタクトの使用は禁止
- ・過度な刈り上げ、段カット、ソフトモヒカン、左右非対称等は不可

(2) 制服

◆冬服

- ・学校指定の制服とする。
 - ・ポロシャツを着用する。
 - ・制服の下は、長袖又は、半袖のポロシャツとする。
 - ・ポロシャツの中に着る肌着は白色で、丸首やVネックとし、ハイネックは禁止する。
(ただし冬服着用時は黒色、グレーでもよい)
 - ・ポロシャツの上に着るセーター・トレーナー・ベストは無地の黒・白・紺・茶・灰色とする。
- ※長袖のポロシャツ、半袖のポロシャツは、ズボン又はスカートの中へ入れる。
- ※フード付や上着から出るものは着用しない。
- ※セーター、トレーナー、ベストだけで学校生

活を過ごさない。ただし、教室内に限り可。
教室から出る際には、制服またはポロシャツとする。

・スカート又はズボンの下にタイツを着用してもよい。無地のベージュ、黒色とする。

◆夏服

- ・学校指定の制服、長袖か半袖のポロシャツとする。
- ※半袖、長袖のポロシャツは、ズボン又はスカートの中へ入れる。
- ※ズボンは腰まできちんと上げ、ずらして着用しない。
- ※スカートは膝がかけれる長さを基準とし、短くしたり、長くしたりしない。

(3) 靴下

- ・白色で無地。模様、ワンポイント、線の入ったものは不可。くるぶしソックスも不可。長さはくるぶしが余裕をもって隠れるもの

(4) 靴

- ・登下校の靴は、白単色のスクールシューズでランニングシューズタイプ又はスニーカータイプ（運動できる靴）。素材は布。靴ひもによる編み上げタイプ
- ・校内はスリッパ。学校指定のもの
- ・体育館は体育館シューズ。学校指定のもの
- ※靴、スリッパ、体育館シューズの区別をつける。

(5) ベルト

- ・色は黒色で装飾の無いもの

(6) 名札

- ・冬服を着用の際に左胸に付ける。
- ・極端に胸より下の位置につけたり、名札を隠したりせず、決められた場所に付ける。
- ・夏服の場合は、名前の刺繍が入っているものでなくてもよい。

(7) 体操服

- ・本校規定の体操服のもの

(8) 帽子

- ・学校指定の白のもの
- ・登下校、部活動、授業時の必要な際に着用する。
- ※授業時に必要な場合は教員より指示を行う。

(9) 防寒着等

- ・ウィンドブレーカーは学校指定のもの。部活動ごとに揃えることはしない。また、教室内では着用しない。
- ・ネックウォーマーや手袋は可。色は白・黒・紺・茶・灰色系統で華美でないもの

※マフラーの着用は不可

(10) その他

- ・休日や忘れ物を取りに登校する場合は、制服又は体操服を着用すること。
- ・詳細については、写真や絵入りで説明している「服装（みなり）についての規定」【P7～P8】を確認すること。

第5条 （校内の生活）

「生活四訓（挨拶、時間厳守、整理整頓、身だしなみ）」を実践し、礼儀正しく、規律や時間を守ること、基本的な生活習慣を築いていく。

(1) 挨拶

- ・場の状況に応じて、気持ちの良い挨拶をする。
- ・授業や集会では、礼儀正しく、大きな声で挨拶をする。

(2) 言葉づかい

- ・先生や目上の人に対して、適切な敬語を使用しはじめのある態度を心がける。

(3) 授業

- ・ベル着を守る。
- ・授業の準備物を授業前に用意する。
- ・私語をしない、授業ノートをとる、課題は期日を守って提出する等、基本的な学習習慣を身につける。

※授業妨害やエスケープがあった場合は、その時間は教室に入れず、保護者に来校していただき指導する。場合によっては、特別な指導を行う。

(4) 定期試験

- ・試験週間中は職員室、事務室、印刷室への出入りは禁止。必要がある場合は職員室外で用事を済ませる。
- ・カバンは各自のロッカーに入れ、机は空にして筆記用具のみにする。

- ・試験中に物の貸し借りはできない。忘れ物に注意する。

- ・その他試験について決められた事を守り、不正な行為は絶対しない。

(5) 休憩

- ・他学年の場所に行かない。他教室に入らない。
- ・次の授業の学習道具を準備する。
- ・昼休憩はボールが使用できる。その際は貸し出し簿に記入する。時間を守り、借りた本人が片付ける。

(6) 給食

- ・給食当番は、給食着、マスクを着用する。マスクを忘れた場合は購入する。
- ・給食当番以外は、静かに座って読書をする。
- ・配膳台の清掃や手洗いを確実にを行う。
- ・牛乳はたたんで、班でまとめて袋に入れる。
- ・給食終了時刻（13時10分）までは教室の自席に座しておく。

(7) 水筒

- ・お茶が必要な場合は持参できる。
- ・水筒の代わりにペットボトルを持参する場合はタオルや専用カバー等で覆う。
- ・熱中症対策として、期間限定でスポーツ飲料の持ち込みを許可する。なお、期間等は学校から連絡をする。

(8) 掃除

- ・担当区域を決められた時間いっぱい（掃除開始から終了のチャイムが鳴るまで）取り組む。
- ・清掃道具は大切に扱い、責任を持って管理する。

(9) ロッカー

- ・カバンは左、サブバックの上に黒カバン等、美化委員が示すように使用する。（詳細は「ロッカー使用について」【P9】を確認する）
- ・学校に置いていい道具は各学年から指示する。

(10) 持ち物

- ・持ち物には名前をはっきりと記入する。（目印となるキーホルダー等は、こぶし大のサイズまでのものをバックに1つつけてよい。）
- ・金銭や貴重品などは持ってこない。持ってきた時は、朝、担任に預ける。

- ・学習に不必要なもの（スマートフォン・携帯電話等、カッターナイフ等の危険なもの、漫画や雑誌、ゲーム、マスコット等）は持ってこない。

※不要物を持ってきた場合には、学校で預かり保護者に返却する。

※不要物の持込が続く場合は、保護者に来校していただき指導する。

※スマートフォン等情報通信機器の校内の持ち込みは厳禁。校内に持ち込んだ場合は、学校で預かり、保護者に来校していただき、指導後に保護者に返却する。

※多くの生徒による不要物の持込、危険物の持込がある場合は持ち物点検を実施する。

(11) 保健室

- ・保健室の利用は原則 1 時間とし、回復が見込めない場合は保護者に連絡する。
- ・保健室で静養する時は、教科担当に伝える。

(12) 部活動

・部活動参加は任意とする。

- ・3 年間継続して活動できるように取り組む。
- ・社会体育のスポーツチーム等に参加している生徒は本校の部活動に入ることはできない。
- ・定期テスト前の一週間は部活動を原則停止する。
- ・部活動の服装は、学校の体操服、各部活動で定められた服装とする。
- ・練習を欠席する時は、顧問に連絡をする。
- ・詳細については、「部活動について」【P12～P13】を確認する。

(13) エアコン

- ・教室に掲示してある「エアコン使用のルール」に従って使用する。

(14) その他

- ・学校内の施設や設備は大切に扱う。
- ・学校内の施設や設備を破損した場合や発見した時は、直ちに職員室に届け出る。破損については原則、費用弁償とする。
- ・物を借りた時は、借りた人が責任をもって返すようにする。

第 6 条 （クロームブック）

クロームブックは「安心・安全・快適」に使うこと

で、学習内容をより理解し、より豊かな学びにしていく。

(1) 使用の心得

- ・学習活動のために使用する。そのため、それ以外では使用しない。
- ・三原市からの貸し出しであり、故意に壊した場合は弁償となるため、ルールに従って大切に使用する。

(2) 使用場面

- ・原則、授業のみの使用とする。
- ・授業以外で使用する場合は教員に許可を取って使用する。

(3) 使用方法

- ・自分の ID やパスワードは他の人に教えない等自分や他人の個人情報大切にすること。
- ・意見や考えを伝える際には、相手を誹謗・中傷していないか等、相手への影響を考えて使用する。
- ・インターネット上には危険が潜んでいることを常に意識し、不必要なサイトにアクセスしない等、注意して使用する。
- ・プライバシーの侵害、著作権や肖像権を侵害する行為等、法に触れる行為は絶対に行わない。
- ・詳細については「クロームブックの活用について」【P14】を確認すること。

第三章 校外での生活に関すること

この章は生徒の安心・安全の確保や健全育成を目的に、保護者責任の観点から、その内容を記載する。生徒は次の内容を守ること。なお、本章の内容に違反しトラブルが起きた場合は、保護者が責任をもって警察等関係機関と連携を取る。

第 7 条 （外出・交友・外泊）

(1) 外出

- ・行き先や誰と行くか、帰宅時間等を保護者に伝える。
- ・18 時以降生徒だけで用の無い限り外出をしない。
- ・小学校や他の中学校、高等学校の敷地に無断で入らない。

(2) 交友

- ・ファミレス、フードコート、ファストフード、カラオケボックス、ゲームコーナー等の場所に生徒だけで立ち寄らない。保護者の同伴(同席)の場合のみ許可する。
- ・グループの打ち上げや旅行は保護者の同伴(同席)の場合のみ許可する。
- ・「進学・就職先への学校推薦基準」に記載されている反社会的な問題行動を起こさない。

(3) 外泊

- ・生徒間の外泊は禁止する。

第8条 (スマートフォン等情報通信機器)

- ・学校へのスマートフォン等情報通信機器に関する持ち込みを原則禁止する。
- ・全国的にスマートフォン等情報通信機器に関するトラブル等が多く生起していることもあり、特別な事情のない限り、契約しないようにする。
- ・保護者は、家庭でのルール作りや、フィルタリングに努め、子どもの利用状況を把握する。子どもを被害者にも加害者にもしないために、本人や友人・知人の画像、固有名詞(学校・個人名)、動画のSNSへのアップをしないとともに、SNS等は原則開設させない等、保護者の責任において使用させ、問題行動の未然防止に努める。

第四章 特別な指導に関すること

第9条 (問題行動への特別な指導)

「社会では許されないことは、学校でも許されない」との認識に基づき、生徒が校内及び校外で問題行動を起こしたり、違反行為が確認されたりした場合は、学校・保護者、関係機関による連携のもと、より良い学校生活を送るために特別な指導を行う。

(1) 特別な指導の内容

- ・説諭
- ・別室での反省や学習の指導、奉仕活動
- ・日記などの振り返り指導
- ・クロームブックの一定期間の使用禁止

(2) 特別な指導の対象となる行為

・法令、法規に違反する行為

- ①飲酒 ②喫煙 ③暴力、威圧、強要行為
- ④建造物、器物破損 ⑤窃盗、万引き
- ⑥性に関する問題 ⑦薬物乱用 ⑧交通違反
- ⑨刃物等所持

・本校の規則等に違反する行為

- ①喫煙同席、タバコやライター等の所持
- ②いじめ ③カンニング ④家出、夜間徘徊
- ⑤授業妨害、エスケープ ⑥染髪、ピアス
- ⑦登校後の無断外出、無断早退、⑧暴言
- ⑨間食、⑩指導に従わないなどの指導無視
- ⑪クロームブックの悪質な使用
- ⑫その他、学校が教育上必要とすると判断した行為

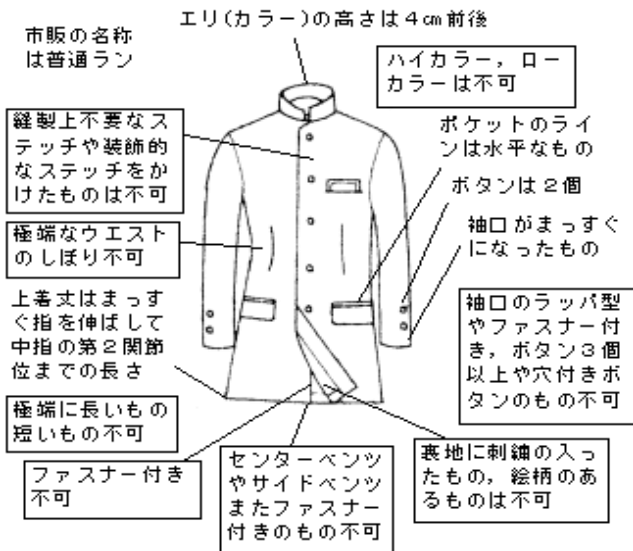
(3) その他

- ・別室指導の期間は原則1～5日間とする。問題行動の内容や常習性により、期間を定める。
- ・関係機関との連携のもと、学校生活復帰のための特別プログラムを実施する場合がある。

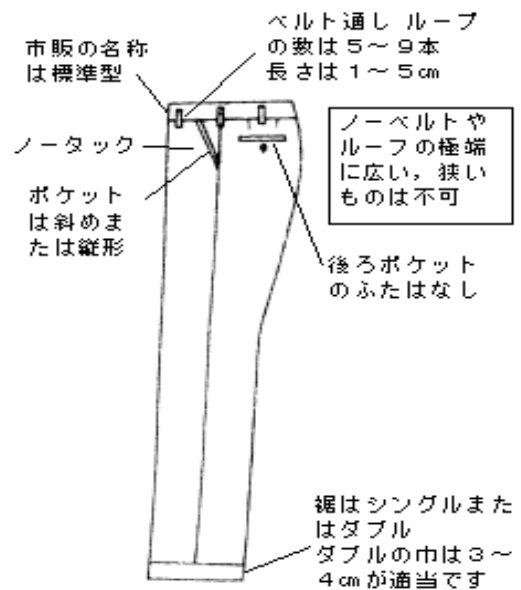
服装（身なり）について

◆学生服

標準学生服とズボンを図示します。口の中に書いたことは変形学生服に見られる特徴です。これらの服は禁止しています。



◆学生ズボン



◆セーラー服



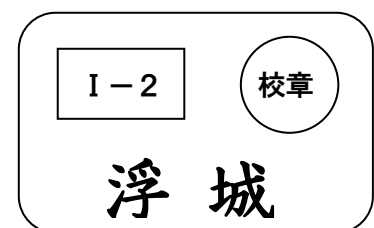
◆スラックス



◆ポロシャツ



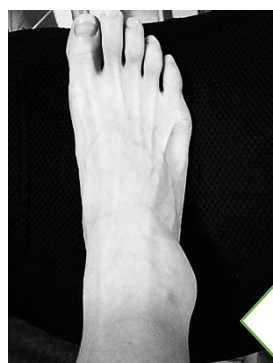
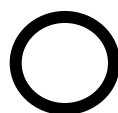
◆名札



◆頭髪



◆靴下



矢印の部分（斜めに盛り上がっているところ）もくるぶしに含みます。

※富士山でいう裾野の部分

ロッカー使用について

～整理整頓！ロッカーの中も美しく！



カバンは左
サブバッグの上に黒カバン
授業道具は右

『部屋の乱れは、心の乱れ』

b y 美化委員会

進学・就職先への学校推薦基準

三原市立第二中学校
校長 倉橋 伸 秀
生徒指導部・進路指導部

進学先で充実した規律ある学校生活を送り、高等学校卒業まで頑張ることができる生徒、あるいは、就職先でまじめに仕事に励み、信頼されることができる生徒を学校推薦の候補者とします。

このことは特別なことが求められているわけではなく、ごく普通に校則を守り、学習に励み、前向きに中学校生活を送っていることが、推薦の条件に当てはまります。

したがって、教職員や保護者の指導に従わず、次に列挙するような行動が見られる生徒については、学校推薦の候補者として認められないことがありますので留意してください。

1、次のような反社会的な問題行動がある場合

- 万引き・無免許運転・喫煙・窃盗・恐喝・夜間徘徊・暴力行為・いじめ行為
脅し行為・不純異性交遊・長期間にわたる家出・めいわく行為
- その他法律に触れる行為や警察の補導・逮捕対象となる行為

2、次に挙げる生活規律や学習規律に関して、学校や保護者の指導に従わず、同じようなことを繰り返して、保護者との連絡・協議をしても改善が見られない場合

【 生活規律 】

- 通院など特別の理由がなく、登校時の遅刻が一年間で9回以上ある。
- 自転車通学において違反を繰り返し、停止処分になる。
- 服装・頭髮について規則を守ろうとせず、違反を繰り返す。
- 落書きや器物破損、他人の物へのいたすらなど、集団生活における非常識な行動を繰り返す。
- 学校へ持ってきてはいけないものを、繰り返し持ってくる。
- 部活動で無断欠席を繰り返す。
- その他、生徒指導規程に書かれている生活規律のルール違反を繰り返す。

【 学習規律 】

- 授業に必要な道具や宿題・提出物を持ってこないことが多い。
- 授業中、私語や立ち歩きを繰り返し、学習に集中できない。
- 授業への遅刻・許可されていない早退や外出・無断欠席が多い。
- その他、生徒指導規程に書かれている学習規律のルール違反を繰り返す。

※ 1、2のいずれかに該当した生徒でも、その後著しく改善が見られた場合は、学校長を含む推薦判定会議で推薦を認める場合があります。

一方で、推薦の候補者、あるいは推薦した生徒が、その後、新たに上記に該当する事例が出てきた場合は、推薦を取り消すとともに、高等学校・就職先と連携する場合があります。

自転車通学について

1. 自転車通学許可範囲

- ・家から学校の門（東門に入ってすぐの地点）までの通学距離が通学路で2 km 以上とする。
- ・自転車は原則、シティサイクルと呼ばれる一般的に型のもの。高価なものの装備が華美なものにならないようにすること。

2. 許可の条件

①上記の自転車通学許可範囲に入るもの

②交通ルールを守り安全に運転できるもの

- ・二人乗りの禁止
- ・並列運転の禁止
- ・傘さし運転の禁止
- ・無灯火運転の禁止
- ・通学路を守る
- ・信号無視をしない 等

③防犯登録をしてあるもの

④運転するときはヘルメットを着用、雨の日にはカッパを着用することができるもの

⑤自転車の整備が行き届いていること

- ・サイズは体型に合ったもの
- ・変形ハンドル、立ち乗り用のバーなど危険な装備は禁止
- ・スタンドは直立タイプ
- ・前カゴは可、サイドは不可
- ・5段程度の変則は可

⑥自転車通学許可願いを提出すること

※上記①～⑥の条件を満たした場合、学校からステッカー（鑑札）を購入する。代金は 200 円

※ステッカーを後部の見える位置に貼る

※1 年生は入学式後にステッカーを配付。集金も入学後に行う。それ以外の生徒は個別に担任の先生に相談する

3. 手続きの流れ

通学距離の確認 → 自転車通学許可願い提出（地図の添付） → ステッカー（鑑札）配付



学校にて通学許可かどうかの確認

4. 許可の取り消し

- ・自転車通学が認められた場合でも、ヘルメット不着用や二人乗り、変形ハンドル等、違反をした場合は許可の取り消し等になる。
- ・自転車通学の違反者は、違反カードをもらい、保護者印を押して持ってくる。対応は生徒指導部自転車担当、生徒指導主事、担任が行う。

5. その他

- ・深小学校区はバス通学を許可（通学距離が 6 km を超える場合、補助の対象となります。）
- ・病気、ケガ等で特別に自転車・バス通学を希望される場合、相談して下さい。

部活動について

1. 下校時刻

- ・部活終了時刻（バスや船の時間により変更する場合がある）

	春夏時間 4月～10月秋季大会	冬時間 文化祭後～3月末
部活終了	16：45	16：45
完全下校	17：00	17：00
延長完全下校	17：30	

- ・完全下校（2・3年生は新学期から。1年生は、5月1日から実施）を守れず、累積人数が5人を超えた場合は、その翌日奉仕活動を行う。（翌日が休業日の場合は、休業日後の課業日とする）

※下校時刻の違反者の累積人数は、学期ごとにリセットする。

※部活動延長する場合は、顧問が職員朝会で理由と内容を事前に連絡しておくこと。

2. 部室

- ・部室の使用は、部活動の時間に限定とする。
- ・活動時間以外は、授業道具を置いたままにしない。
- ・体育の授業の更衣室としての使用は認めない。
- ・他の部活の部室や活動場所には絶対入らない。入れさせない。
- ・部室は内外を問わず、飲食厳禁とする。
- ・部室は定期的に掃除をすること。
- ・部室の鍵の管理は責任を持って行う。部活終了後は確実に施錠し職員室に返却すること。
- ・部室の窓閉めも確実に行うこと。

3. 服装・持ち物

- ・運動系の部活動は、体操服または各部活動で指定された服装で練習をすること。
- ・部活動の服装で登下校してもよい。ただしタオルを首に巻いたり、体操服のシャツ出しをしたりしない。
- ・活動に必要なものは、二中規定のスポーツバックで持参する。対外試合等の時は、顧問から指示または各部で話し合った内容に従うこと。
- ・水筒は持ってきて良いが、お茶か水を持ってくる。試合時に顧問からスポーツ飲料可の指示があった場合は別とする。また、ペットボトル持参の時はタオルや専用カバーなどで覆うこと。

4. 活動場所の管理

- ・活動場所の掃除及び整頓は、部員の責任で行うこと。
- ・体育館・武道場などの鍵の管理は、責任をもって行うこと。

5. 休日の部活動

- ・休日の部活動も平日と同様、自転車通学を許可された者のみ自転車通学できる。
- ・休日の昼食についても平日と同様、顧問の許可なく商店等へ出入りすることは厳禁とする。
- ・休日の部活動は、部活動の服装で登下校してもよい。
- ・休日の部活動も、部活終了後15分以内に下校すること。

6. 登下校

- ・登下校中や部活動中のお菓子・ジュース等の飲食・商店等への出入りは厳禁とする。
- ・下校後、帰宅するまでは、寄り道や買い食いはしないこと。

7. 挨拶運動・校内巡視・下校指導

- ・挨拶運動は予定表に従い、正門にて、制服または体操服を着用し、一列整列で声を揃えて行う。
- ・校内巡視・下校指導は割り当てられた表に従い、確実に行う。
- ・校内巡視では、窓閉めを確実に行うこと。その際、完全下校を過ぎることもあるが、極力、完全下校に間に合うようにすること。

8. 転部

- ・部活動は3年間続けられる部を選ぶこと。そのためよく考えて所属する部活動を決めること。
- ・やむを得ない事情で、部活動の所属変更をせざるを得ない場合は、本人・保護者の申請を基に、新旧顧問・担任・本人・保護者などの協議によって審議し、決定する。

9. その他

- ・部活動を休む場合は、必ず自分で顧問・部長に連絡する。休日は学校に連絡する。
- ・着替える場所は、各部活顧問から指示された場所で行うこと。

Chromebook（クロームブック）活用のルール

令和7年4月

1. Chromebook 活用の目的

- ・これからの社会で活躍していくために必要な力の1つであるデジタルコンテンツを効果的に活用すること（三原市ではChromebookを活用）で、学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていく。
- ・デジタルコンテンツは便利な一方、使い方を間違えると危険なことも多くあり、情報モラル等正しい使い方を学び、「安心・安全・快適」に活用していく。

2. Chromebook 家庭での活用の心得

- ・Chromebook は個人の所有物ではなく、三原市からの貸し出しである。そのため、故意に破損させた場合は三原市教育委員会を通して修理を行い、その金額を弁償する。
- ・教科書等と同様に学習のための道具として使用する。
- ・登下校中は鞆から出さず、原則、家庭や**授業**での学習のために使用する。また、許可なしに家から持ち出すことはできない。
- ・Chromebook にトラブル（機器の不良や紛失等）が生じた場合は、すぐに先生に知らせる。

3. Chromebook 使用のルール

①Chromebook は以下に示すようなことに注意をして、丁寧に扱う。

- ・ゆっくり開閉する
- ・両手で持ち運ぶ
- ・キーボードは強くたたかない
- ・飲食をしながら使用しない
- ・画面に磁石を近づけない
- ・日光が強く当たる場所に置かない
- ・Chromebook の上にもものを置かない

②他人の Chromebook には勝手に触らない。また、自分の Chromebook を他人に触らせない。

③デスクトップのアイコンの並びや位置、背景の画像、色等の設定を変えない。

④Chromebook 使用に必要な ID やパスワード等は他人に知られることがないように十分気を付ける。また、自分から教えたり、勝手な変更をしたりしない。なお、忘れた場合は先生に知らせる。

⑤以下のような学習に関係のない使用はしない。

- ・学習に関係のない情報の検索、動画の閲覧、SNS アプリやオンラインショップの利用
- ・不必要（先生から指示されていない）な写真や動画の撮影
- ・新たなアプリケーションのダウンロードや今入っているアプリケーションの変更や削除
- ・ゲーム、その他学習に関係のない使用

⑥学校での使用は、原則授業中のみとする。なお、授業以外で使用する際は先生の確認を取って行う。

⑦写真や動画は先生が許可をした時に使う。撮影する際は必ず撮影する相手や場所の許可を得る。

⑧作成したデータ（写真や動画も含む）やインターネットから取り込んだデータの保存は決められた場所に保存する。これらを掲載する場合は先生に確認を取ってから行う。**また、保存したデータを別の端末に移す行為や、家庭で印刷をするなど、持ち出すことをしない。**

⑨相手を誹謗・中傷（悪口や人を傷つける等）する発信をしない。

⑩自分や他人の個人情報（名前、住所、電話番号、メールアドレス等）はインターネット上に載せない。

⑪個人の情報を盗み出す行為や、著作権・肖像権を侵害する行為等、法に反する行為は行わない。

⑫Chromebook に私物の USB メモリやマウス等、別の機器の接続はしない。

⑬これらのルールが守れない場合は生徒指導規程に基づいた指導を行う。

4. オンライン授業のルール

①Google Meet に参加する際の服装は制服又は体操服。

②画面を見る時間が長くなるため、適度な休憩をとり、目や体を休ませる。

③Google Meet を行う際は、壁紙を変更し、自室が隠れるようにする。

④生徒側のマイクは原則オフにする。質問等は、挙手またはチャットで行う。

⑤授業等の録画は行わない。